

平成28年度 弘前市総合計画審議会議事概要 (第6回)			
日 時	平成28年10月7日(月) 13時00分～14時00分		
場 所	弘前市役所新庁舎 3階 防災会議室	傍聴者	0人
出席者	委員 (17人)	森会長、村松委員、小磯委員、阿部委員、中村委員、島委員、清野(眞)委員、清野(智)委員、熊谷委員、前田委員、北村委員、鈴木委員、山形委員、石川委員、浅利委員、一戸委員、三上委員	
	事務局 (5人)	ひろさき未来戦略研究センター総括主幹、ひろさき未来戦略研究センター総括主査、ひろさき未来戦略研究センター主査、ひろさき未来戦略研究センター主事	
	その他		
会 議 概 要			
1 開会			
2 議事			
(1) 経営計画の進捗にかかる二次評価(最終案)について			
○事務局からの説明に対し、委員からの質問・意見等なし。			
(2) 経営計画改訂方針(案)について			
○主な質疑等の内容は以下のとおり。			
・「第1 経営計画改訂のポイント」の「(2)計画最終年度及び次期総合計画へ向けた見直し」に関して、概ね目的を達成した施策等について資源配分方針を抑えとあるが、目的を達成してからが重要である場合もあり、目的を達成したからやめるのかと受け止められかねないので、表現に留意する必要がある。			
⇒同種同類の事業については、単に統合するだけではなく、統合することによって経費を抑えつつ、効果的かつ効率的な取り組みとなるよう見直しを行うという意図であり、そのため資源配分方針を縮小としている。決して、その取り組みをやめるというものではない。			
・否定的な言葉は意図しない方向で捉えられることもある。一般の市民が資源配分方針の「縮小」だけを見た場合、その施策を市として重要視しない、あるいはやめていくと捉えることもあると思われるので、表現方法について、再度検討すべきではないか。			
⇒誤解を与える可能性については、事務局内でも議論したところであるが、単純に取り組みについて縮小するのではないことを明確に判断理由に記載することで			

説明しているので、「縮小」という表現としたいと考えている。

- ・「縮小」という一見辛辣な表現を使う方が、その資源配分方針に対する様々な意見が出てくることもあると思うので、「縮小」という表現を使用すべきと考える。
- ・「第2 各施策の評価結果と資源配分方針について」の「経営計画の改訂に向けたフロー」について、ひろさき未来戦略研究センターと財務政策課、人材育成課が互いに連携して改訂を行うのであれば、フロー図についても連携していることが伝わるような工夫が必要ではないか。